

Elemax™ 2600

シリコーンバリアコーティング材

商品説明

Elemax 2600 シリコーンバリアコーティング材は、無溶剤※1、1液塗布型の主ポリマー成分が100%シリコーンのコーティング材で、外壁のコーティングとシールに使用されます。

Elemax 2600は、過酷な温度、太陽光/紫外線、雨、雪など、さまざまな要素にさらされても気密性と防水性を長期に渡って保持します。

主な特長

- ・ 建築基準に適合-IGC ESR-3983評価報告書に拠ると、IBC、IRC、IECCおよびグリーンコードに適合し、気密性、防水性を保持するバリア塗膜として使用できるとされています。
- ・ シームレスな一体性のある気密バリア-シリコーン製品/システムを塗布することで、シームレスな一体性のある気密防水層を形成します。
- ・ 簡単な施工-シンプルなシステム設計、塗工性が良好で、隣接する建築部材との適合性の広さにより、施工が容易です。

性能

- ・ 省エネルギー-Elemax AWBシステムは、建物の外壁を通る空気と水の流れを制御し、連続したバリア塗膜を形成することで、建物のエネルギー消費を最高で35%も削減し、カビ、腐敗、サビなどの水に関連する問題から守ります。
- ・ 100%シリコーンの主ポリマーによる耐久性-自然の風化や過酷な温度変化に対する長期的な耐性があり、弾性の変化はごくわずかであるため、長期に渡って性能が持続します。
- ・ 耐紫外線性-20年以上暴露しても、特性や性能はほとんど変化しません。オープンジョイントや通気性のある雨よけ被覆の裏側に使用するのに優れた製品です。
- ・ 密閉性-規定膜厚で試験した場合、釘とファスナーの水浸透基準を合格します。ファスナーの密閉性は、建物が完全に被覆された後、AWBが最適な性能を発揮することに貢献します。
- ・ 防火特性-NFPA285に合格し複数の外壁構造に使用可能。2015 IBCの耐水バリア免除規定に適合。ASTM E84: クラスA延焼および発煙特性に適合。
- ・ 弾性-硬化して長期に渡り柔軟な塗膜を形成し、高温・低温下でも劣化がほとんどありません。
- ・ 蒸気透過性-水蒸気は通しますが、水滴は通しません。

使用用途

- ・ シームレスで通気性のある塗膜-水や空気の侵入を防ぎ、水蒸気は逃がします。
- ・ 1回の塗布で済むシンプルさ-Elemax 2600は、スプレー、パワーローラー、またはブラシで塗布でき、人件費を節約できるため、施工コストが抑えられます。
- ・ ノンプライマー接着-プライマーなしで多くの一般的な基材に接着します。
- ・ 施工可能温度範囲は-18° C~66° C、硬化後の使用温度範囲は-40° C~149° C。製品の粘度は温度による影響をほとんど受けず、寒冷地でも加熱の必要はありません。
- ・ 施工時間の融通性-塗布からわずか30分で、雨に晒されても問題ありません。
- ・ 速硬化-再塗装までの時間が短く、タッチアップが容易です。
- ・ 施工可能な下地の多さ-Elemax2600は、打ち放しコンクリート、CMU、ガラスマット石膏ボード、セメントボード、合板、OSB、外壁石膏ボードなど、さまざまな外壁下地に施工できます。
- ・ シリコーンへの適合性-シリコーンを使用してシーリングされた窓、ドア、ジョイントなどに接着します。
- ・ 無溶剤※1-低VOC処方; クリーンエアゴールド認証は、ANSI/BIFMA e3標準クレジット7.6.1、7.6.2、および/またはクレジット7.6.3 (カリフォルニア州公衆衛生局 (CDPH) 標準法v1.2 01350 (2017年) を含む) への適合、ならびにWELLおよびLEEDの低排出材料への適合を示す。

※1 有機溶剤の意図的添加はなく、不純物として少量のメタノールを含みます。

Elemax AWBシステム

以下のモメンティブ製品でシリコーンによる空気(Air)と水(Water)のバリア(Barrier)システム(AWBシステム)を構築できます:

AWBシステム構成製品:

- ・ Elemax2600-1成分形シリコーン塗料。
- ・ Elemax5000リキッド・フラッシング-目地、継ぎ目、隙間、フラッシング、およびウルトラスパン™シリコン・トランジション・ストリップのような下地材料切替部分の接着に使用する非流動タイプシリコーンシーラント。以下は、使用可能なその他のシーラントのリストです:
 - ・ SGS2000 SilPruf™ シリコーンシーラント
 - ・ SGS2700 シルプルーフLM 低モジュラスシリコーンシーラント
 - ・ SGS9000 シルプルーフNB 低汚染性シリコーンシーラント
 - ・ SWSシリコーンウェザーシールシーラント
- ・ ウルトラスパンUST2200シリコーン・トランジション・シート、
- ・ ウルトラスパンUS1100シリコーン・トランジション・ストリップ、
- ・ ウルトラスパンUSMプレキュア・シリコーンモールド・コーナーも使用可能です。ウルトラスパン100%シリコーンエラストマーゴムは、大きな隙間、エキスパンション・ジョイント、ドリフトジョイント、貫通部周辺などのディテールや移行部分に使用できます。
- ・ RF100補強布-100%ポリエステル・スパンレース補強布は、粗い開口部、貫通部、内側/外側コーナー、フラッシング、トランジション、平面の変化などの処理に使用されます。RF100補強布は、最大 13 mmまでのノンワーキングジョイントに使用できます。
- ・ Elemax SSフラッシング-ブチル系接着剤を使用した、ステンレススチール製の自己接着シートで、壁の貫通部、移行部分、カーテンウォールの周辺部、窓・ドア・パン周り、屋根からパラペット箇所などに使用できます。

適用可能な箇所

Elemax2600は、空気や水の通過を防ぐ長期的なバリアとして機能する優れた製品です。この製品は、窓、ドア、目地などのファサードのシールやグレージングに使用されるシリコーン材料に適合します。さらに、ほとんどのシリコーンシーラントは、硬化したElemax 2600シリコーンAWBコーティングと接着するため、そのような移行部の接着の問題の可能性を軽減します。

荷姿

Elemax2600は、現在以下の荷姿で提供しております:

- ・ 5ガロンプラスチック缶 (Net:5ガロン[18.9 L])
- ・ 55ガロンドラム (Net:50ガロン[189 L])

色

Elemax2600は現在、標準色として黒をご用意しています。ご要望に応じてグレーとホワイトもご用意できます。詳細については、モメンティブ営業担当者にお問い合わせください。

標準的な特性

Elemax2600の硬化前および硬化後の標準的な物性値を以下の表に示します。

硬化前

特性	結果 ⁽¹⁾	試験方法
主成分	シリコーン樹脂	
外観	流動ペースト状	
色	黒	
VOC	<24 g/L	EPAメソッド24
粘度	~25,000 cps	ASTM D2196、方法A
固形分	90% (体積比)	ASTM D2697準拠

(1) 製品仕様については別途弊社製品規格書でご確認お願い致します。

標準的な特性-続き

乾燥厚み - 乾燥前塗布量480 μ mのとき乾燥厚みは430 μ mになります。

特性	結果 ⁽¹⁾	試験方法
空気透過率 (75Pa) でテスト済み	0.0002 L/s·m ²	ASTM E2178
	0.0004 L/s·m ²	CAN/ULC-741
組立時の空気漏れ75 Paでテスト済み	0.0009 L/s·m ²	ASTM E2357
	0.0019 L/s·m ² クラス A1	CAN/ULC-742
水蒸気透過率	10.5perm@430 μ m DFT (透湿抵抗換算1.66*10 ⁻³ m ² ·S·Pa/ng)	ASTM E96手順BW (転倒水法)
	10.2perm@430 μ m DFT (透湿抵抗換算1.71*10 ⁻³ m ² ·S·Pa/ng)	ASTM E96 手順B (水法)
	7.9perm @430 μ m DFT (透湿抵抗換算2.21*10 ⁻³ m ² ·S·Pa/ng)	ASTM E96 手順A (乾燥剤法)
水の浸透	2993Paで15分経過後も浸水なし。	ASTM E331
風雨への耐性	合格 1245Paで24時間後、目視による漏れや水分の重量増加が観察されなかった。	ASTM D6904
耐紫外線・耐候性	5000時間後でも劣化なし	ASTM G154
釘周りの密閉性	合格	ASTM D1970
クラックブリッジ能力 (1.5mm)	合格	ASTM C1305
防カビ性	0 - 成長なし	ASTM D5590
施工温度範囲	-18° C~66° C	
硬化後使用温度範囲	-40° C~149° C	
引張接着強度 (コンクリート)	0.87 MPa	ASTM D4541
引張接着強度 (グラスファイバーマット面石膏シーリング)	0.30 MPa ⁽²⁾	ASTM D4541
引張強度	1.41 MPa	ASTM D412 ⁽³⁾
伸び	542%	ASTM D412 ⁽³⁾
完全硬化時間	1-2 日	温度と相対湿度により異なる
再塗装までの乾燥時間	<2 時間	温度と相対湿度により異なる
多層壁アセンブリ燃焼試験	組立テストに合格し、分析結果に基づけば、さまざまな壁組立品に使用可能	NFPA 285
表面燃焼特性	炎の広がり : 10 発煙 185 NFPAクラスA、UBCクラス1	ASTM E84
酸素消費 (コーン) 熱量計	有効燃焼熱 4.6 MJ/kg ピーク熱放出率 52.7 kW/m ² 総放熱量 7.55 MJ/m ²	ASTM E1354

(1) 製品仕様については別途弊社製品規格書でご確認お願い致します。

(2) コーティングが破壊する前にグラスファイバーマット/下地が破壊したため、シリコーンの完全な強度が得られていません。

(3) サンプルはASTM D2370に従って調製し、ASTM D412に従って試験しました。

ICC-ES AC212: 外装下地の上に防水バリアとして使用される耐水塗料の許容基準

シリーズ試験 - 荷重試験、せん断試験、環境試験、浸透試験		
1. 荷重試験	パネル、下地の継ぎ目、フラッシングの界面にひび割れがないこと。	ASTM E1233 手順 A
2. せん断試験	パネル、下地の継ぎ目、フラッシングの界面にひび割れがないこと。	ASTM E72
3. 環境試験	パネル、下地の継ぎ目、フラッシングの界面にひび割れがないこと。	ICC-ES AC212
4. 浸透試験	荷重、せん断、環境試験調整後、目に見える浸水なし：137Paで15分間試験	ASTM E331
シリーズ試験 - 耐候性		
1. 紫外線暴露		ICC-ES AC212
2. 加速促進試験		ICC-ES AC212
3. 静水圧試験	UV照射、加促促進後も浸水なし：55cmの静水圧で5時間テスト。	AATCC 127
凍結融解	深割れ、浅割れ、ひび割れ、腐食、層間剥離、その他の劣化した現象がないこと。	ICC-AC212 ASTM E2485 方法 B
防水性	14日間暴露しても劣化なし。	ASTM D2247
引張接着	> 105 kPa	ASTM C297

施工

施工温度

Elemax AWBシステムは、寒い時期を含め、ほとんど時期で施工できます。これらシリコーン製品は、湿った基材や濡れた基材には接着しないので、露が存在する可能性のある早朝の時間帯、霜が存在する可能性のある寒冷な条件下、または基材に水分が残っている可能性のある降雨後に施工する場合は注意が必要です。下地はきれいで乾燥し、霜がない状態でなければいけません。乾燥した基材に塗布する限り、-18° C までの寒冷条件下でも塗布することができます。Elemax 2600Iは、温度が 66° C 以上の基材表面には塗布しないでください。

硬化と再塗装までの時間

Elemax 2600の硬化速度は、温度と湿度に依存します。温度が低く湿度の低い条件では硬化速度が遅くなり、温度が高く湿度の高い条件では硬化速度が速くなります。標準的な条件である22° C、相対湿度 (RH) 50%の場合、この材料は通常1~2時間で指触乾燥の表面になり、24時間以内に完全硬化します。再塗装やタッチアップは、塗膜の表面が固まればすぐに行うことができ、ほとんどの気候条件では2時間以内ですが、気温が低い場合は24~48時間かかることもあります。

表面処理

- 標準的な施工例として、Elemax AWBシステムの施工前と施工後の両方で、壁（または内部空間）への水の浸入を避けるために、屋根などの囲いを施工（または仮置き）することを推奨いたします。屋根材との接着性、適合性を確認するため、エアバリアシステムの施工を屋根工事業者と調整することをお勧めします。
- すべての表面は清潔で、乾燥していて、シーリング材とコーティング材の適切な接着を妨げるような汚染物質がない状態でなければいけません。

- 新しいコンクリートは、Elemax AWB システムを塗布する前に、少なくとも 28 日間経過していることを確認してください。養生剤や離型剤を使用しないでください。コンクリートが完全に乾燥する前に施工を行う必要がある場合は、事前に接着試験を行うことを推奨します。
- CMU/モルタル/グラウトは、Elemax AWBシステムを施工する少なくとも3日前に施工してください。
- 必要であれば、ワイヤーブラシなどで石材のモルタルの浮きやその他の汚れを取り除き、清潔でほこりのない施工面にしてください。
- 多孔質材料は水分を吸収・保持する可能性があるため、塗布前に基材が乾燥していることを確認することが重要です。
- 金属、プラスチック、貫通部などの下地に対するシーラントとコーティングの接着性を事前にテストすることをお勧めします。接着しにくい下地への接着を強化するために、必要に応じてプライマーもご用意しています。

コンクリート/石材の処理

Elemax5000リキッドフラッシングで、石材表面の小さな空隙やひび割れを最大12mmまで埋めます。ジョイントナイフまたは適切なへらを使用し、シーラントを押し広げます。

シーラントの厚さを最低508μmに保ちながら、クラックを中心に25mmの幅に押し広げます。より大きなひび割れや空洞は、無収縮グラウトまたは他の適切な補修材で補修してください。CMUに吹き付ける場合は、膜のピンホールを避けるため、バックローリングが必要です。

被覆材の処理

穴や損傷部

Elemax 2600は、適切な膜厚で塗布すれば、被覆材の通常の表面の凹凸や小さな擦り傷をカバーすることができます。小さな穴

(例えば、空いたビス穴、穴など)は、直径10mm程度までであれば、Elemax5000リキッド・フラッシングをこて塗ります。より大きな穴や、被覆材の損傷(大きな剥離、角の損傷など)で、塗料やシーリング材が明らかに対応できない場合は、被覆材の製造メーカーに従って補修する必要があります。

被覆材の切り口(露出した石膏箇所)

Elemax2600は、必要に応じて、露出した石膏箇所をローラーまたはブラシで塗布することができます。

ねじ頭

Elemax 2600は、膜厚が均一になるように塗布すると、適切に設置されたねじ頭部分をカバーできます。ねじ頭が過度に埋め込まれているもしくは突き出している場合は、塗料を塗布する前または塗布した後、Elemax 5000リキッドフラッシングをコテ塗りするか、Elemax 2600を追加塗布してください。塗料塗布後にねじ頭を処理する場合は、塗料が十分に固まり、シーラントをコテで塗布できるようになるまで、十分な硬化時間が必要です。この硬化時間は、数分(夏の暑さと湿度の場合)から、場合によっては一晩(冬の寒く低湿度な場合)かかることもあります。

被覆材の目地

すべての被覆材の目地部は、以下の2つの方法のいずれかを用いて処理する必要があります(ジョイント幅に基づく)。被覆材の目地は、Elemax 2600を塗布する前でも後でも処理できます。塗布後に目地処理を行う場合は、シーリング材をへらで塗布できる程度に塗膜が固まるまで、十分な硬化時間が必要です。この硬化時間は、数分(夏の暑さと湿度の場合)から、場合によっては一晩(冬の寒く低湿度な場合)かかることもあります。

- ・ 13mmまでの被覆材の目地は、Elemax5000リキッドフラッシングのブリッジジョイントで処理することができます。シーラントをジョイントの継ぎ目上に、最小厚さ508μmを維持しながら、ジョイントを中心に幅 38mmまでへら塗ります。被覆材の目地部が6mmを超え、13mmまでの場合は、スタッドバックキングをElemax5000リキッドフラッシングで処理する必要があります。
- ・ 13mmまでのシーリングボード目地は、RF100をElemax2600に適切に埋め込み、ジョイントの中央に配置することもできます。
- ・ RF100補強布をElemax2600に埋め込む場合は、RF100補強布の幅よりも25mm以上広い幅で十分な量の1回目(最低250 μm)を塗布してください。RF100補強布をElemax 2600の中に置き、Elemax2600をローラーで2回目(最低250 μm)塗布し、ピンホールがないことを確認します。

13mmを超えるノンワーキングジョイント、ワーキングジョイント、ドリフトジョイント

ノンワーキングジョイントは、Elemax5000リキッド・フラッシング、またはElemax2600を接着剤として使用し、ウルトラスパンUST2200シリコーン・トランジション・シートで補強し、目地の中央に配置し、目地面から壁側へ最低25mmはみ出す状態で設置してください。

- ・ 接着剤としてElemax 2600を使用する場合、UltraSpan UST2200シリコーン・トランジション・シートが入る十分な幅で、ローラーで最初の塗布(最低250 μm)を行ってください。塗料が粘着性を持つまで5分程待ち、UltraSpan UST2200を塗料に押し込んでください。UltraSpan UST2200の上に、Elemax2600(最低 250μm)を2回目の塗布をしてください。

移行部

AWBシステムは、末端部、移行部、開口部、平面の変化部、周縁部で途切れさせず施工されるようにしてください。これには、Elemax5000リキッド・フラッシング、RF100補強布をElemax2600に適切に埋め込んだもの、Elemax SSフラッシング、またはUltraSpanの組み合わせ、またはUltraSpanをElemax5000リキッド・フラッシングと接着したものを使用してください。移行部、継ぎ目、貫通部などにおける推奨施工方法については、GE AWBシステムの詳細を参照してください

壁貫通部

Elemax SSフラッシングを、最新の仕様書、施工ガイドライン、および詳細に従って、壁貫通部に取り付けてください。

膜厚

Elemax 2600は、スプレーで 1 回塗布することもできますが、ローラーで塗布する場合は、必要なウェット膜厚(WFT)を満たすために2回に分けて塗布する必要があります。

Elemax2600の塗布膜厚は、濡れ膜厚計を使用して(ウェットな状態で)測定し、適切な量が壁面に塗布されていることを確認してください。このシステムのウェットおよびドライ膜厚要件を下表に示します:

ウェット膜厚 (WFT)	乾燥膜厚 (DFT)
480 μm	430 μm

塗布面積-Elemax 2600

Elemax 2600の実際の塗布面積は、基材、塗布装置、プロジェクトの条件、廃棄物によって異なる場合があります。実際のプロジェクトの基材、条件、および使用予定の装置に基づいて塗布面積を特定するには、モックアップを使用することをお勧めします。

430μm DFTでの理論上の最大塗布面積は、2.1m²/Lです。以下およその塗布面積を示します。:

下地	m ² /L
滑らかな表面(グラスファイバ一下地と同様)	1.7 - 2.1
石材の表面(CMUに似ている)	1.5 - 1.7

施工-続き

使用量目安-Elamax5000リキッドフラッシング

下地目地処理に使用する場合は、目地幅38mm以上、厚さ500-1000 μ mで塗布してください。以下の計算値は、目地の幅、下地の質感、材料のロス、その他の要因を考慮したものではありません。値は、厚さ508 μ mでの最大収率に基づいています：

- ・ カートリッジ1本で約15m使用可能
- ・ アルミパック1本で、約30m使用可能。
- ・ 2ガロン缶1缶で、約392 m使用可能。

開口部の粗処理や一般的な細部に使用する場合は、最低 500-1000 μ m厚×150mm幅のコテ塗りを行ってください。以下の計算値は、後述する要素を考慮していません： 施工形状、下地の質感、材料のロス、またその他の要因は考慮されていません。500 μ m厚での最大収量に基づく値：

- ・ カートリッジ1本で約4m使用可能
- ・ アルミパック1本で約8m使用可能
- ・ 2ガロン缶1缶で約98 m 使用可能

補修

最も効果的なAWBシステムは、隙間、穴、破損のない状態のものであるため、補修する前にAWBシステムを点検し、穴が開いている箇所や破損している箇所を修理してください。補修を行う前に、補修箇所が清潔で乾燥していることを確認してください。Elamax2600のタッチアップと補修は、ブラシ、スプレーまたはローラーを使用して行うことができます。補修には以下の方法があります：

- ・ ピンホールや擦り傷などの小さな損傷には、Elamax2600を直接塗布してください。
- ・ ピンホール、擦り傷、ねじ頭、10 mmまでの隙間や穴など、小さな損傷や破損した部分には、Elamax5000リキッドフラッシングを直接塗布してください。
- ・ より大きな欠陥には、Elamax2600を塗布する前に、Elamax SSフラッシングを下地に直接接着するか、シリコーン塗料がすでに塗布されている場合は、Elamax5000リキッドフラッシングの中にElamax SSフラッシングを埋め込んでください。
- ・ 適切な大きさのUltraSpan UST2200トランジションシートを、Elamax5000リキッドフラッシングまたはElamax2600に埋め込み塗布することで接着することもできます。Ultraspan UST2200トランジション・シートを補修に使用する場合、シリコン・トランジション・シートの端は全て、小さなビード状のシーラントを塗布した後滑らかに仕上げてください。

施工方法

Elamax2600は、パワーローラーを含め、ブラシやローラーで塗布できます。Elamax2600は、エア、電気、エンジン駆動の塗布装置を使用して、ペール缶やドラム缶から直接塗布することもできます。Elamax2600は、大気中の水分の存在下で硬化するため、Elamax2600の処理に使用されるスプレー装置は、大気中の水分の存在下で硬化します：

- ・ 装置に製品を投入する前に、水がない状態であることを確認してください。

- ・ Elamax2600を提供するために必要な圧力で安全に動作するように設計されている必要があります。
- ・ 耐溶剤性のホースを使用する必要があり、製品がライン内に長時間留まることを想定している場合は、ベーパーロック設計のホースを使用してください。
- ・ 適切な保護具を着用した作業者のみが操作できるようにしてください。その他の装置の推奨事項や情報については、モメンティブの技術サービス担当者にお問い合わせください。

適合規格



ABAA-米国エアバリア協会の要求性能テスト済み



Intertek Sustainability Clean Air GOLD-Certificationは、ANSI / BIFMA e3規格のクレジット7.6.1、7.6.2、および/またはクレジット7.6.3 (カリフォルニア州公衆衛生局 (CDPH) 標準メソッドv1.2 01350 (2017年) を含む) への適合、ならびにWELLおよびLEEDの低排出材料について適合しています。

AC212-コンプライアンスに関する声明:

Elamax2600は、受入基準AC212「外装下地上の耐水性バリアとして使用される耐水性塗料の受入基準」のセクション3.1.2に記載されている試験性能要件を、ここに記載されている方法で満たすか、もしくはそれを上回る性能を示しています。

ラボ試験報告書はご要望に応じて入手可能です。

テクニカルサービス

その他の技術資料については、最寄りのカスタマサービスセンターにお問い合わせください。(モメンティブの製品の使用に関して、モメンティブまたはモメンティブの代理人が提供する技術的な助言は、信頼できるものであると信じてますが、モメンティブは、明示または黙示を問わず、そのような助言が提供された用途における使用の適合性を保証するものではありません。

責任外事項

モメンティブの製品を評価した上で、特定の用途における使用の適合性については、お客様ご自身でご判断ください。

Elamax2600は、以下の用途には使用できません：

- ・ 地下防水用途。
- ・ 表面が濡れている、凍っている、汚れている/汚染されている状態での施工
- ・ 雨が降っている場合、または悪天候が迫っている場合、もしくは2時間以内にその可能性がある場合での施工。

特許について

本書の内容は、特許権の対象となる発明の実施を当該特許権者の権限なくして許諾、あるいは当該実施を誘引または推奨するものではなく、また、関連する特許権の不存在を示唆するものでもありません。

製品の安全、取り扱い、保管について

本製品の使用を検討されているお客様は、製品の安全性情報、取り扱い方法、必要な保護具、および必要とされる特別な保管条件について、最新の安全データシートおよびラベルをご確認ください。安全データシートは、www.siliconeforbuilding.com で入手できます。また、ご要望があれば、モメンティブの担当者にお問い合わせください。モメンティブのシーラント製品と共に他の材料（例えば、プライマー）を使用する場合は、追加の注意が必要な場合があります。そのような他の材料の製造元が提供する安全情報を確認し、それに従ってください。

取り扱いと保管

- ・ 使用するまで容器を開けないでください。
- ・ 使用しないときは、容器をしっかりと閉め、プラスチックライナーを材料に密着させてください。Elemax2600は、大気中の水分と反応して硬化が進みます。容器を開けて大気にさらすと、時間の経過とともに材料に表皮が形成されます。寒い時期には表皮の形成はごくわずかですが、高温多湿の条件下ではすぐに（数分で）形成されます。材料の上部に形成された硬化物は、ポンプの詰まりの原因となるため、材料から取り除くか、篩い分けする必要があります。
- ・ Elemax 2600の保存可能期間は、未開封の容器で適切に保管された場合、製造日から 24 ヶ月です。
- ・ Elemax 2600は、43° C 以下で保管してください。
- ・ 塗料は凍結しません。寒冷地での非加熱保管が可能です。
- ・ 未硬化塗料を高温下で保管すると、材料の有効寿命が短くなる場合があります。直射日光の当たる場所での長期保管は避けてください。

カスタマー・サービス・センター

アメリカ	+1 800 295 2392 フリーダイヤル 電子メール: commercial.services@momentive.com
ラテンアメリカ	ブラジル +55 11 4534 9650 直通番号 電子メール: contato@momentive.com メキシコ +52 55 2169 7670 直通番号 電子メール: commercial.services@momentive.com
欧州・中東・アフリカ・インド	ヨーロッパ +39 05 1092 4300 直通番号 インド、中近東、アフリカ + 91 44 7121 2207 直通番号* *中東諸国全域、アフリカ、インド、パキスタン、バングラデシュ、スリランカ 電子メール: 4information.eu@momentive.com
アジア・パシフィック	中国 800 820 0202 フリーダイヤル +86 21 3860 4892 直通番号 日本 +81 3 5544 3111 直通番号 韓国 +82 2 6201 4600 直通番号 南東アジア、オーストラリア、ニュージーランド +60 3 9206 1543 直通番号* *東アジア全域（マレーシア、シンガポール、タイ、インドネシア、ベトナム、フィリピン、カンボジア、ミャンマー/その他太平洋地域に位置する国）
MyMomentive™ 注文管理サイト	shop.mymomentive.com

モメンティブの材料、製品およびサービスは、該当する販売代理店またはその他の販売契約に含まれ、注文確認書および請求書の裏面に印刷されている、サプライヤーの標準販売条件に従って販売されます。この条件は、該当する販売代理店またはその他の販売契約に含まれ、注文確認書および請求書の裏面に印刷され、要求に応じて入手可能です。本書に含まれる情報、推奨事項、または助言は誠意をもって提供されますが、サプライヤーは、明示または黙示を問わず、いかなる保証も行わないものとします。(i) 本書に記載された結果が最終使用条件下で得られること、または (ii) 製品、材料、サービス、推奨事項またはアドバイスを組み込んだ設計の有効性または安全性に関してです。サプライヤーの標準販売条件に規定されている場合を除き、サプライヤーおよびその代理人は、いかなる場合においても、ここに記載された材料、製品またはサービスの使用から生じるいかなる損失についても責任を負わないものとします。各ユーザーは、自らの特定の使用に対するサプライヤーの材料、サービス、推奨、またはアドバイスの適合性について、自ら判断する全責任を負うものとします。各ユーザーは、サプライヤーの製品、材料、またはサービスを組み込んだ完成品が、最終使用条件下での使用に安全かつ適していることを保証するために必要なすべての試験および分析を特定し、実施しなければなりません。本書またはその他の文書のいかなる内容も、また口頭での推奨または助言も、サプライヤーの標準販売条件または本免責事項のいかなる規定をも変更、変化、優先、または放棄するとみなされないものとします。ただし、かかる変更が、サプライヤーが署名した書面において明確に合意された場合はこの限りではありません。材料、製品、サービスまたは設計の可能な使用または提案された使用に関して本書に含まれるいかなる記述も、かかる使用または設計をカバーするサプライヤーの特許またはその他の知的財産権に基づくライセンスを付与することを意図したのではなく、また解釈されるべきでもなく、特許またはその他の知的財産権の侵害におけるかかる材料、製品、サービスまたは設計の使用の推奨として、そのような記述はありません。

モメンティブ製品を購入または使用する前に、以下をご覧ください。 www.siliconeforbuilding.com/legaldisclaimer 製品および販売に関する免責事項をご覧ください。

TM 記号の使用は、Momentive Performance Materials Inc. またはその関連会社の登録商標または未登録商標を示します。

Copyright 2025 Momentive Performance Materials Inc. すべての著作権はモメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ社に帰属します。



Licensed Partner

siliconesforbuilding.com